

「亜熱帯化先進地九州から全国へ向けて」 気候変動下の水・土砂災害 適応策シンポジウム



環境省環境研究総合推進費「S-8 温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」の一環として、亜熱帯化先進地九州における水・土砂災害適応策に関するシンポジウムを開催します。

プログラム:

開会挨拶 13:00-13:10

基調講演 13:10-13:40

世界で現れる温暖化の影響とそれへの適応の取り組み
三村信男(茨城大学)

災害調査報告 13:40-14:00

平成24年7月九州北部豪雨 土木学会調査団
矢野真一郎(九州大学)

<休憩>

報告 14:10-16:40

地球温暖化時代の安全・安心のために
災害免疫力の素因の抽出ならびにその体系化
集中豪雨の予測手法の開発
九州沿岸の災害脆弱性の評価と高精度高潮モデルの開発

<休憩>

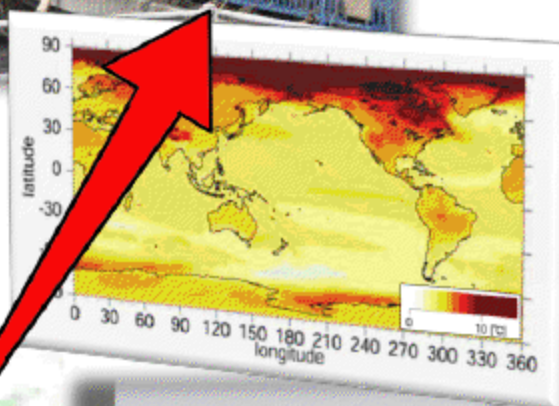
気候変動下における赤土流出リスクの増大とその適応策
直列配置されたダム群による効率的な洪水制御手法の開発
都市災害適応策のための要素技術の開発

<休憩>

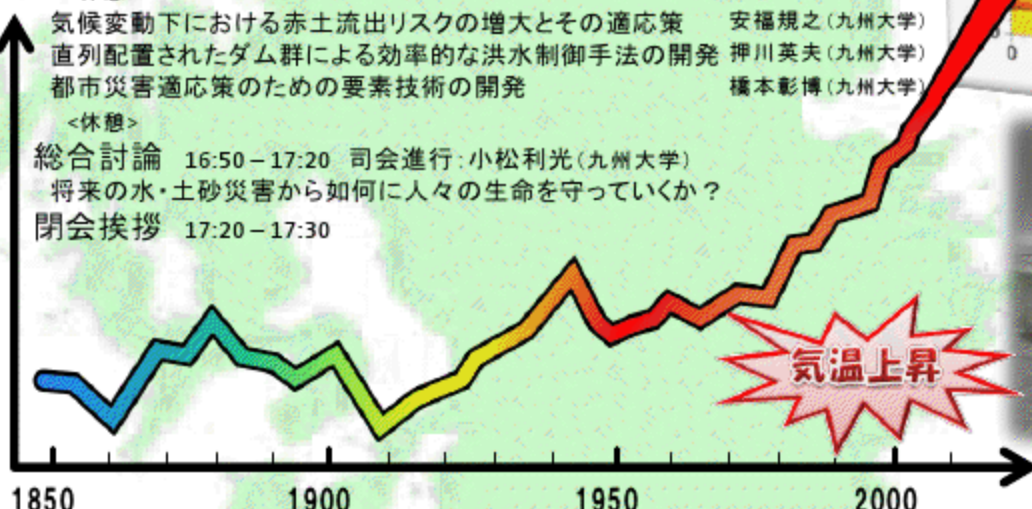
総合討論 16:50-17:20 司会進行:小松利光(九州大学)

将来の水・土砂災害から如何に人々の生命を守っていくか?

閉会挨拶 17:20-17:30



気温上昇



2012/12/14 (金)

13:00~17:30

(12:00 開場)

会場:九州大学 筑紫キャンパス

筑紫ホール(C-CUBE 総合研究棟 1 階)

※事前申し込み不要。直接会場へお越しください。

<https://sites.google.com/site/s822kyushuu/>

参加費
無料



福岡(天神)から……西鉄天神大牟田線白木原下車、徒歩15分
博多駅から……JR鹿児島本線大野城下車、徒歩5分
九州自動車道から……太宰府インターから車で5分
福岡空港から……タクシーで約30分